



校内にはずらりと本が並ぶスペースも。地元の子どもたちが集う場所にもなっています。



利用者の声

地元で穫れた米や新鮮野菜をふんだんに使用した、里山ごはんを楽しめるカフェがお気に入りです!

DATA▶
うましききららの楽校
さつま町白男川1501-1
tel.0996-53-4760
@ kiraranogakko



みんなの笑顔があふれる町のランドマークに

うましき里 きららの楽校

2016年に廃校となつたさつま町の旧白男川小学校をリノベーションし、宿泊型交流施設として2019年にオープン。教室での宿泊や校庭でのキャンプのほか、町の住民が先生となつて行う、特技や自然を生かしたワークショップが好評です。また、高齢者の暮らしを支える活動を行うグループの拠点や災害時の避難所としての役割も。地域を超えた交流と地元の活性化につながる、みんなの心の拠りどころとなっています。



この体験もオススメ

ワークショップ

町の達人によるワークショップ「kiraraわくわくスクール」。竹で水でつぼうを作る竹細工教室は、竹のまち・さつま町ならではの。



約5000㎡の豊かな森にある、大人も子どもも安全に自然体験ができるデッキキャンプ施設。

地域とともに
未来に向かって成長し続ける

リバーバンク森の学校

1990年に廃校となつた南九州市の旧長谷小学校は、長年「かわなべ森の学校」として親しまれ、野外フェスの会場にも活用されてきましたが、施設の維持の難しさから取り壊しの危機に。そこで、有志や卒業生、地域住民たちが一体となって再生に取り組み、2018年、「リバーバンク森の学校」として複合型自然体験施設へと生まれ変わりました。美しい水が湧き出す里山を舞台にした多彩なアクティビティを用意しています。



2010年に「かわなべ森の学校」で始まった野外フェス「GOOD NEIGHBORS JAMBOREE」は、音楽や食、ワークショップを楽しめる人気イベント。



旧川辺中学校をリノベーションした「RIVERBANK TANOKAMI STATION」。カフェとコワーキングスペースを併設し、新しい働き方も提案しています。

野外フェスからスタートし、近年はサマーカーンプも開催。参加者の半分は東京など県外から訪れる子どもたちで、地域内外から人が集い、地域と外をつなぐ場になっていると感じています。

また、この春には「RIVERBANK TANOKAMI STATION」も完成。中高生など若い世代にも来てもらい、将来は家族でも利用してほしいですね。これからもこうした地域の未来をつくるプロジェクトに地域とともに取り組んでいきたいです。



坂口 修一郎さん

一般社団法人
リバーバンク
代表理事

鹿児島市出身。プランニングディレクターとして、鹿児島と東京を拠点にジャンルを超えたプロデュースに携わる。2010年より野外フェス「GOOD NEIGHBORS JAMBOREE」を主宰。

DATA▶
リバーバンク森の学校
南九州市川辺町
本別府3728-2
@ riverbank0702



深い学びを
手に行ける場所

たからべ森の学校

2012年に廃校となった曾於市の旧財部北中学校が、職業訓練施設「たからべ森の学校」として2013年に開校。地元の人々が講師となり、市内外から受講生が訪れる場所になりました。2016年にカフェ、2018年には宿泊施設もオープンし、教室を丸ごと貸し切れるグランピングやスポーツ合宿の利用も可能に。地域内外との交流人口を生み出す場所になっており、実際に魅力を実験することが、移住のきっかけにもなっています。



教室の中にキャンプトentやハンモックなどを備えた全天候型の教室グランピングは、エアコンやお風呂完備で快適。

利用者の声

学校に泊まる体験は、すごくワクワクしました!夜の星空観察もとても良い思い出に。

DATA▶
たからべ森の学校
曾於市財部町北俣5410-1
tel.0986-28-6120
@ soo_takamori



この体験もオススメ

ブッシュクラフト体験

限られた道具を使い、野や山で楽しむ「ブッシュクラフト体験」。遊びの中から、自然との調和や生きていくためのサバイバル技術を学びます。



学校屋上での星空観察会をはじめ、キャンプファイヤーや木工・竹細工などの体験プランを幅広く楽しめます。

この体験もオススメ

パクラフト

1人乗り用の軽量ゴムボート「パクラフト」で、川下り体験やツーリングを楽しめます。初心者でも気軽に体験でき、川辺の豊かな自然を間近に感じられます。

